

HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS

2022.3.19

活動・調査報告

2021-2022



2021-2022

HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS

2022.3.19
活動・調査報告



スクール活動



U25チーム



HAS SOKO

03

HAS SOKO



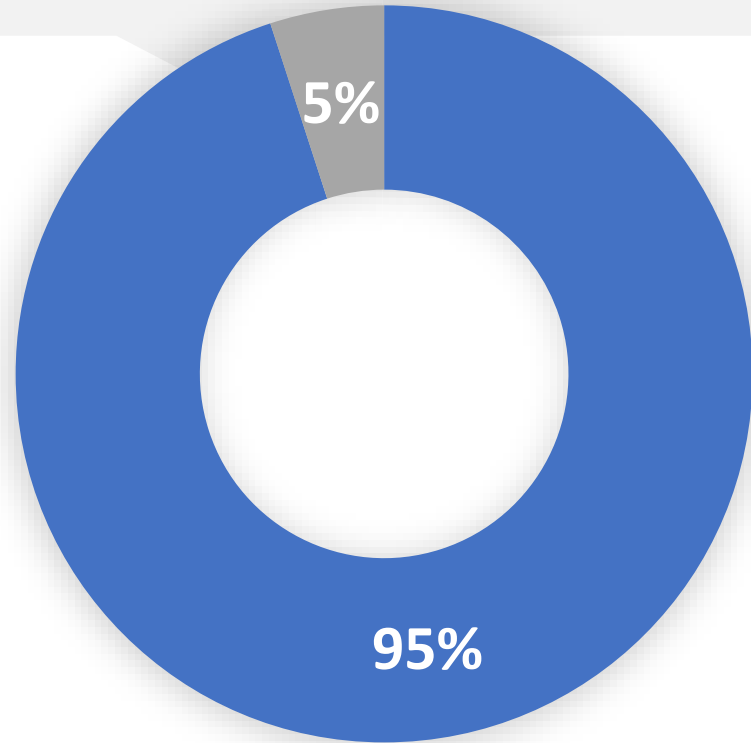
事業名：コロナ禍に対応した障害者スポーツ拠点の 地方モデルの構築（covid19変える）

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

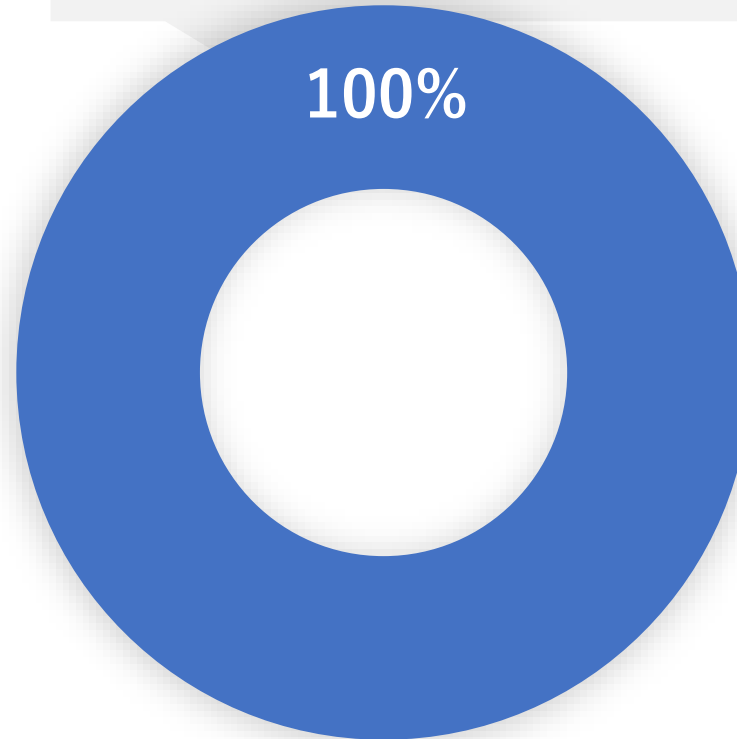
この事業は日本財団の助成を受けて実施しています。

スポーツ活動に対する考え

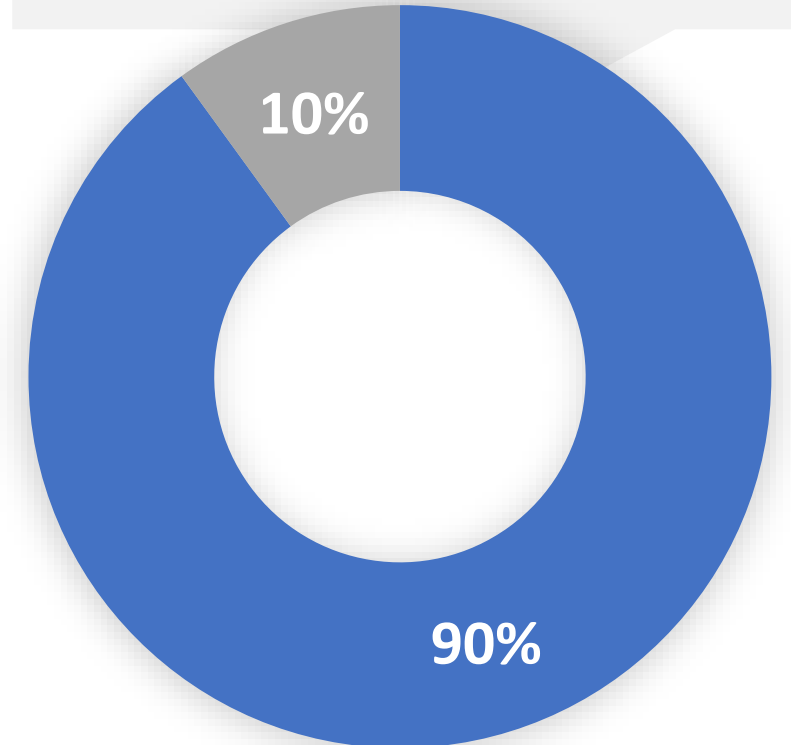
子供が身体を動かす
機会を増やしたい



子供にとって
スポーツは必要だ



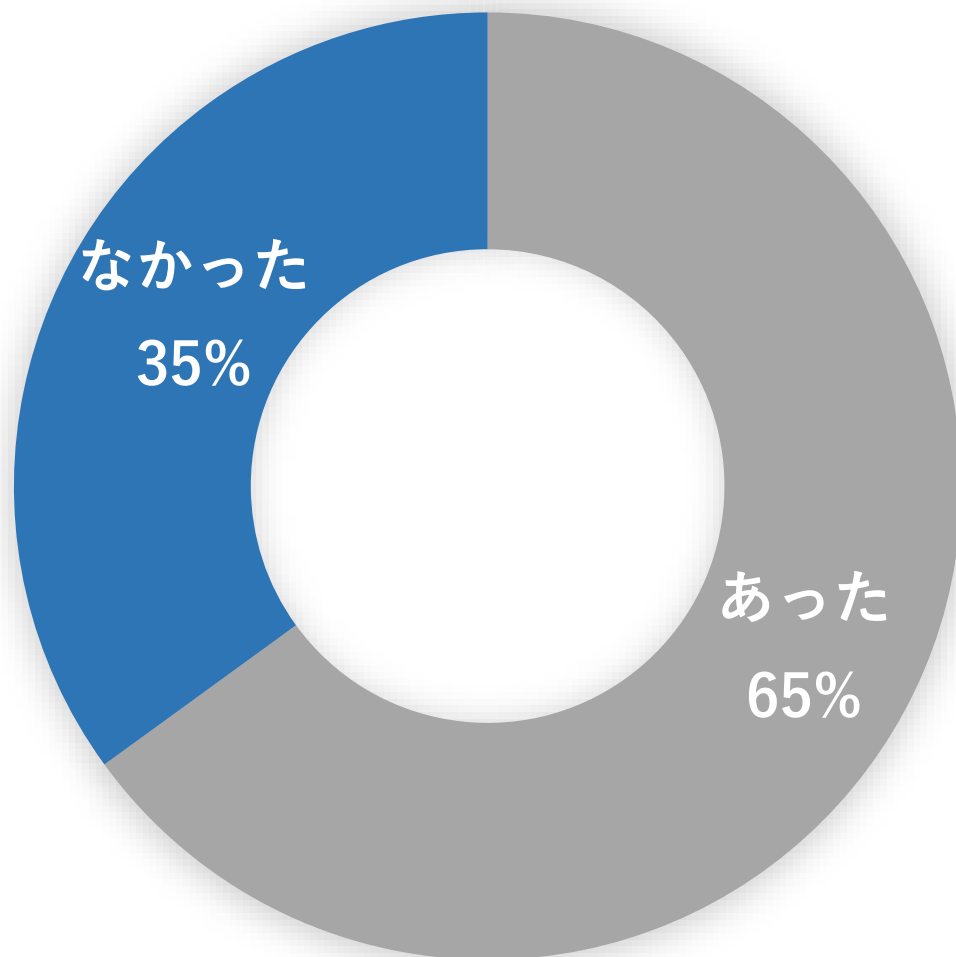
スポーツを通して
子供が成長している



「そう思う」が高い結果を示す

当クラブ会員調査2022.3

(学校の授業以外で)運動する機会がありましたか？



35
%
なかった

スクールに参加する理由

35

%

スポーツできる
場所がここしかない

障がい者のスポーツ実施率(2021年度)

41.8 %

7-19歳(週1回以上)

31.0 %

成人(週1回以上)

56.4 %

健常成人(週1回以上)

障害種別週1回以上のスポーツ実施率(7~19歳)

肢体不自由群は最もスポーツ実施率が低い

28 %

肢体不自由(車椅子必要)

27.8

視覚障害

49.0

聴覚障害

40.4

知的障害

51.0

発達障害

46.7

精神障害

37.2

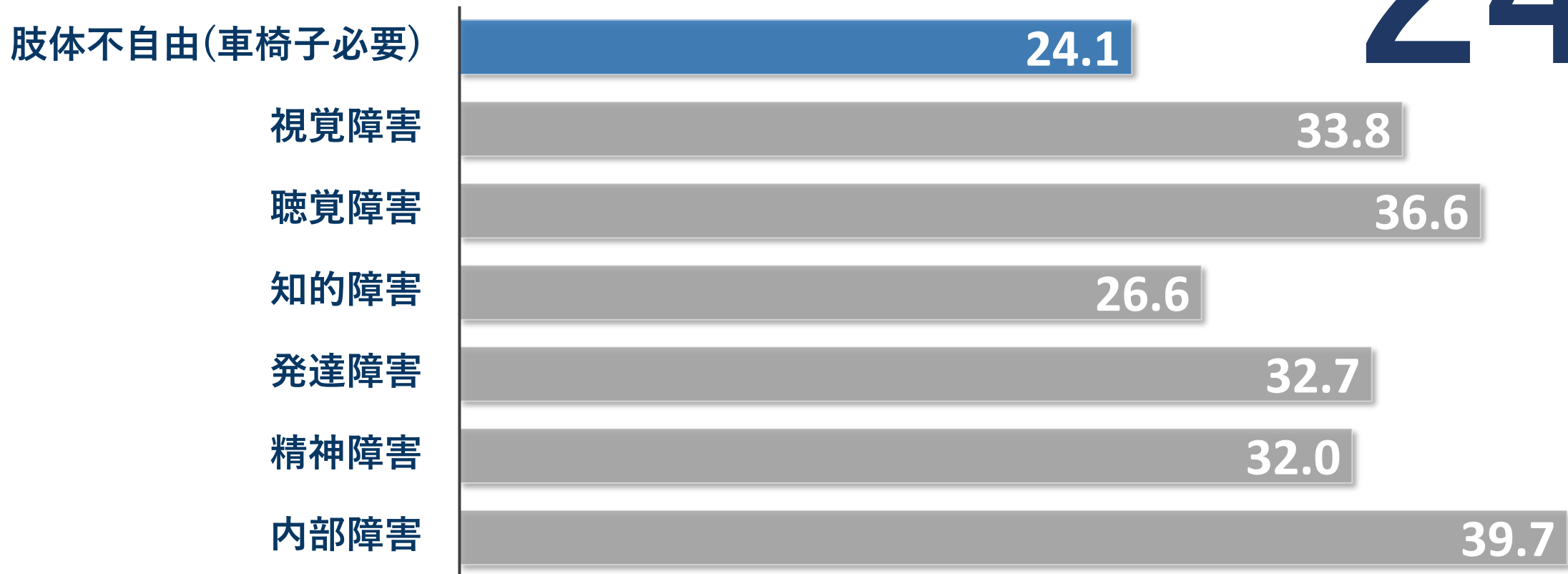
内部障害

45.2

障害種別週1回以上のスポーツ実施率(成人)

成人でも同じ傾向にある。

24 %



障がい者の中で、**肢体不自由(車椅子必要)群のみ**

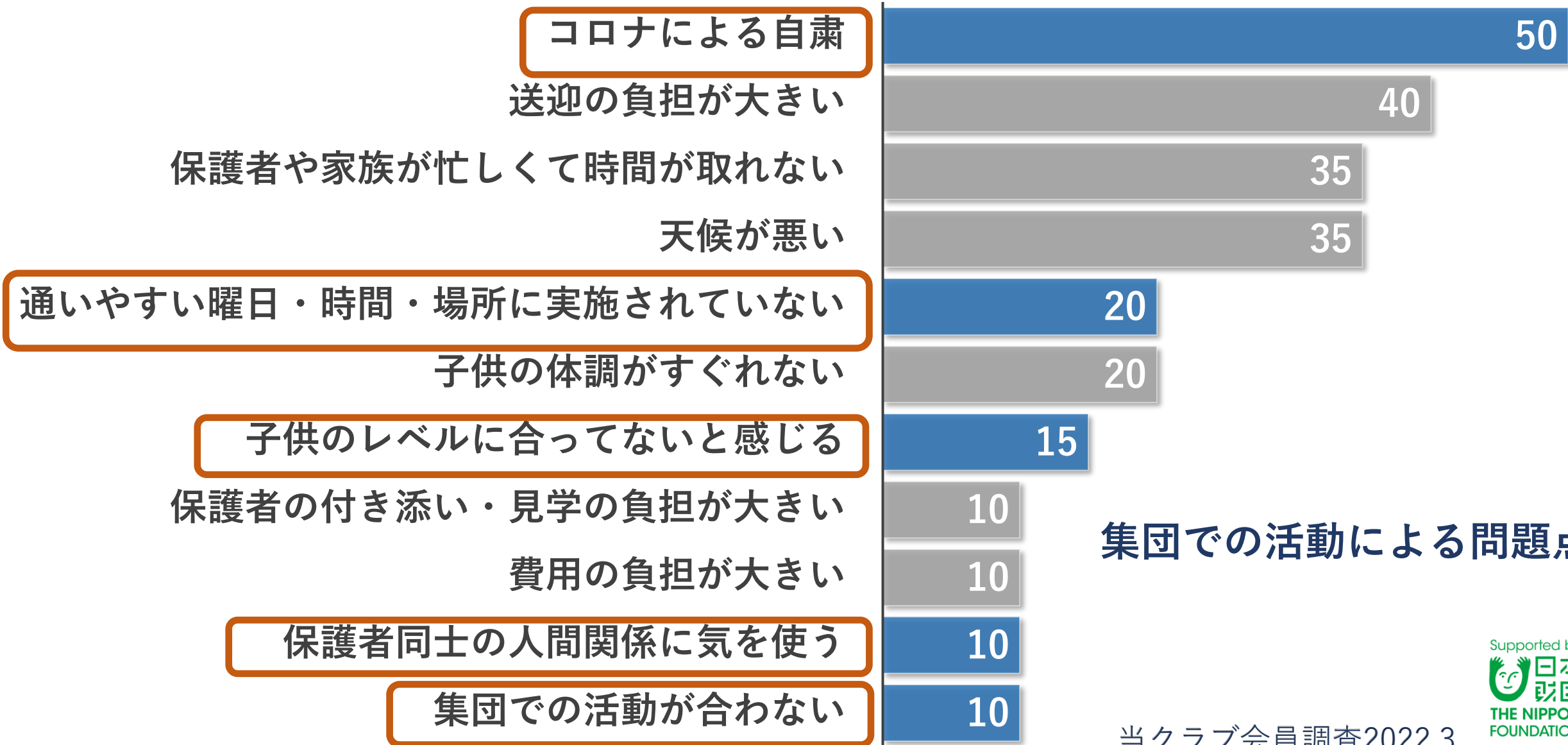
**「スポーツ・レクリエーションを
できる場所がない」**と回答。



他の障がいと比較して、**スポーツできる場所の確保が難しい。**

車椅子でもスポーツできる場所が必要

スクール活動参加を困難にする理由(%)



集団での活動による問題点

withコロナにおける問題

2020年7月(2月に緊急事態宣言発令)

継続的な運動を実施していない

71.4 %

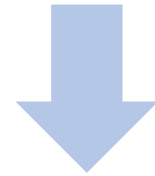
withコロナにおける問題

2020年7月(2月に緊急事態宣言発令)

個別の運動プログラムを期待している

71.4 %

行政機関、民間企業問わず、障がい児者が
個別でも運動できる仕組み作り



障がい児者の
スポーツの実施率の向上 

社会参加・共生社会



コロナ渦でも

継続的に運動できる場



行政機関
大きな公共施設

+

民間でも運営可能
小規模施設

誰もが自分で自分の環境を選ぶ機会が増える



行政機関
大きな公共施設

+

民間でも運営可能
小規模施設

障がい児者がいつでも“個別に”運動や
スポーツが実施できる「小規模施設」

 SOKO
HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS

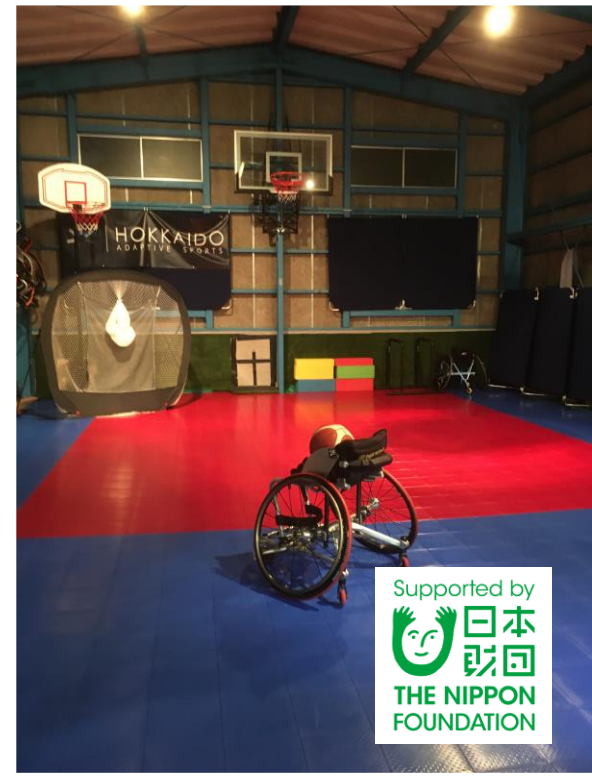
「いつでも、だれでも、どこでも」

時間と場所を”自分で確保”して、
運動やスポーツを実施

「自立」







①

個別
プログラム

②

アスリート
プログラム

③

イベント
交流会



ジュニア選手等へのパーソナルレッスンプログラム

レッスン例

- ・ ウェイトトレーニング
- ・ 体幹トレーニング
- ・ スキーエルゴ
- ・ 車椅子バスケット
- ・ 車椅子ソフトボール
- ・ 車椅子テニス
- ・ 車椅子バトミントン
- ・ 車椅子マラソン
- ・ パラアイスホッケー
- ・ シットスキー
- ・ ファンドリル

など

利用料金

スクール会員：1時間1500円
U-25会員：月会費に含まれる
※緊急事態宣言中は無料開放









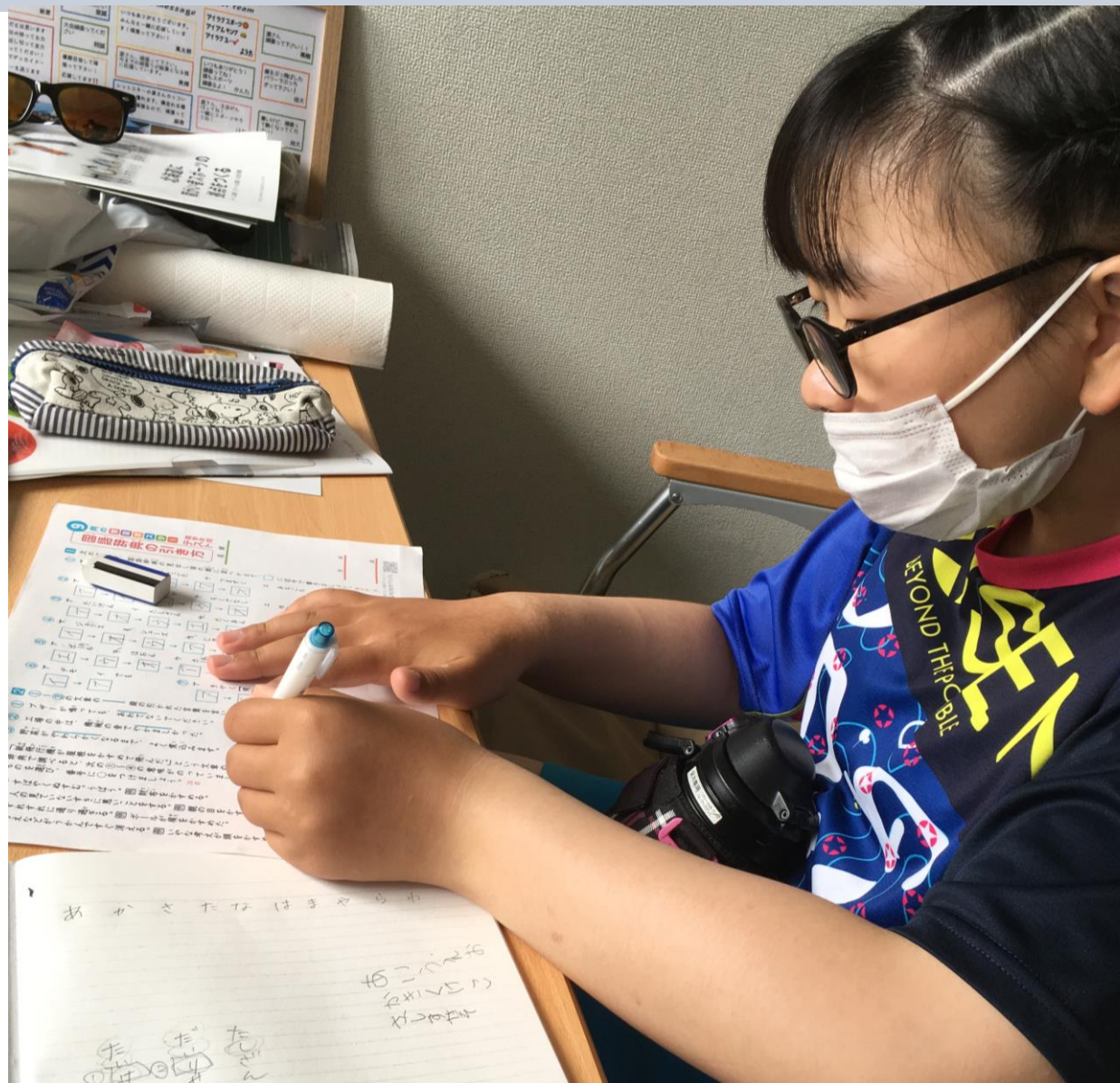










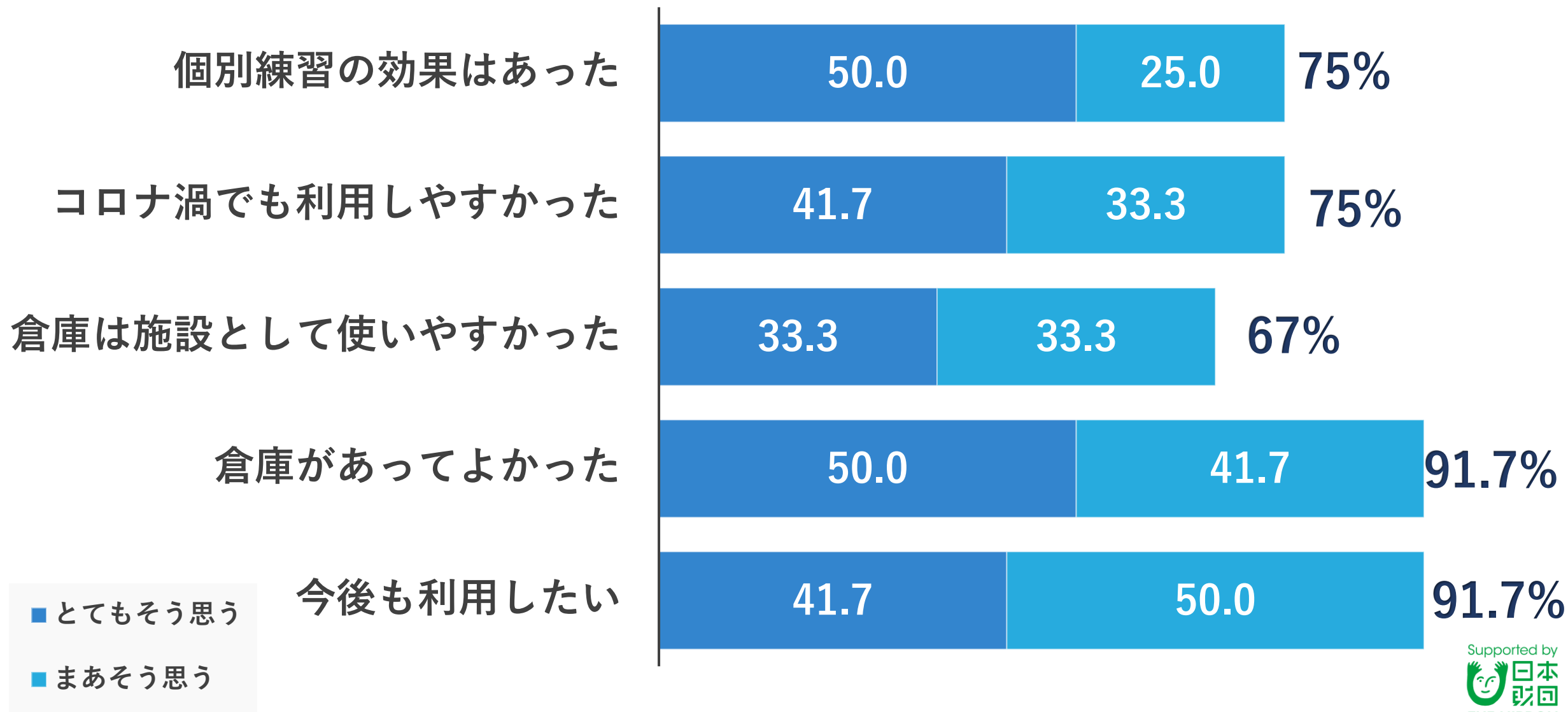


55 日
合計利用日数

内訳
スクール会員：6人
U-25会員：116人
その他：6人

128 人
延利用人数

2020年12月～2022年3月



緊急事態宣言中



STOP!!

SOKO
HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS

個別での対応により、
運動の継続が可能であった

緊急事態宣言中の

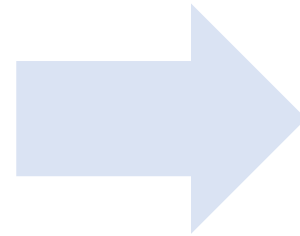
利用人数は通常時と比較して **62%** 上昇

当クラブ会員調査2022.3

継続的な運動を実施していない

2020年7月(SOKO稼働前)

71.4 %



2022年3月(SOKO稼働後)

10.0 %

当クラブ会員調査

61.4%の減少

当クラブ会員調査2022.3



×



パラアスリート例

- ・ 車椅子バスケットボール選手
- ・ パラノルディックスキー選手
- ・ 車椅子ラグビー選手
- ・ 車椅子カーリング選手 など

パラノルディックスキー 源 貴晴 選手



パラノルディックスキー 源 貴晴 選手

夏はほぼ毎日利用した。

誰かが利用していると使いづらさはあるが、いつでも利用できる点がメリットである。冬は寒く除雪が大変な点にデメリットを感じる。

利用スケジュールをみんなで共有できるアプリとかあれば良いかもです。

車椅子バスケットボール 三元 大輔 選手



車椅子バスケットボール 三元 大輔 選手

小さな倉庫でどこまで練習出来るか不安はあったが、限られた空間だからこそ集中して、自身の競技に必要な技術に向き合える環境になっていると感じた。実践を想定した場面ごとの細かな技術にフォーカス出来るようになり、それらの技術が短期間で大きく向上し競技に好影響を与えてくれている実感がある。

このコロナ禍で管理しやすく、そのためいつでも安心して利用できる。ルーティンで練習する選手にとって、何があっても練習が出来るベースを持っているという安心感は技術面だけでなく精神面でも大きなメリットになる。

電子ロックや練習のレコーディング設備があるとなお良い。今後もたくさん利用したい。

パラノルディックスキー 森 宏明 選手



パラノルディックスキー 森 宏明 選手

有酸素トレーニングのマシンがあり、基礎体力向上を図れた。

用具の保管が可能な点はメリットであり、冬場の水栓にはデメリットを感じる。

トレーニング機材としてTRXの設置や、ポップアップストアの導入などがあると良いかもしれない。

個別練習の効果はあった

コロナ渦でも利用しやすかった

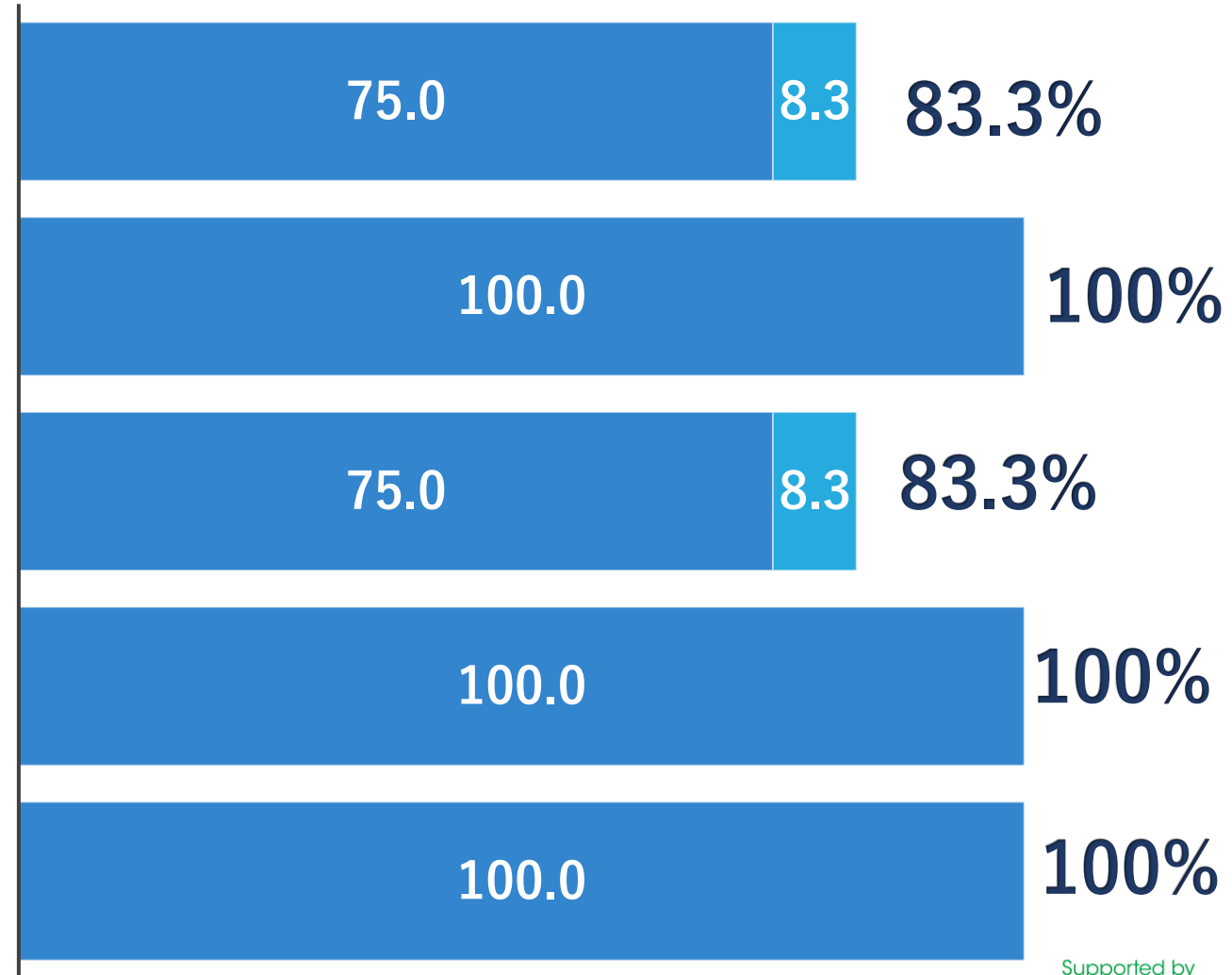
倉庫は施設として使いやすかった

倉庫があってよかった

今後も利用したい

■ とても思う

■ まあ思う





×



SOKOでのイベント交流会の開催

夏休み企画★

HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS

LINEスタンプ 大作戦☆



テーマはパラスポーツ。
みんなで絵を描いて、販売し、
パラスポーツをPRしよう！

2021
8/9 Mon.
10:00 ▶
倉庫集合
持ちもの(あれば)▶色鉛筆、ペン、タブレット、電子ペンなど

斎藤さん🔍 を探せ!

車いすラグビーを
応援しよう!!



東京2020パラリンピック🇯🇵
車いすラグビーパブリックビューイング

2021.08.29
14:00 ~ @ 倉庫

HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS

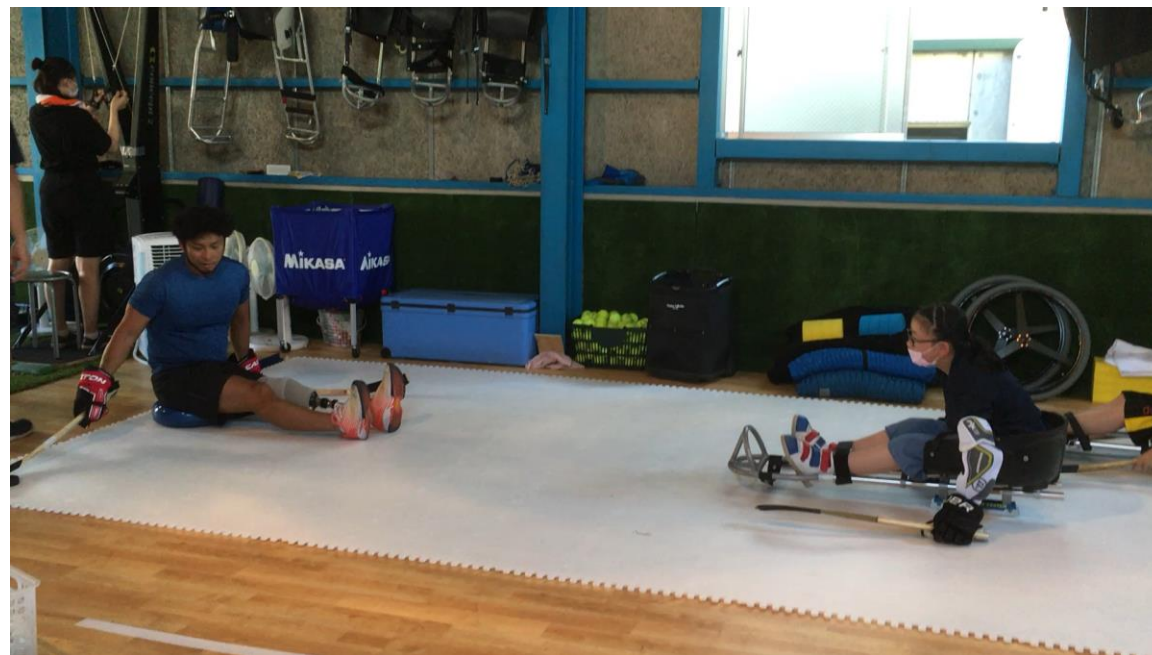
2020.12.6 ノーバリアオンラインLIVE2020



7人

参加人数

2021.7.17 パラリンピアン(パラアイスホッケー堀江選手、 パラアルペンスキー狩野選手)との練習・交流



2021.8.9 LINEスタンプ大作戦



2021.8.21 第10回パラスポーツクラブSAPPORO(スクール)



2021.8.28 パラノルディックスキー 全日本合宿



5人

参加人数

2021.8.29 パブリックビューイング



2021.10.2 U25決起集会



2021.10.17 ユニバーサル野球



2021.11.23 東京遠征・源選手W壮行会



27人
参加人数

2021.11.16 車椅子バスケットボール選手三元選手との練習



6人
参加人数

2021.12.4 パラリンピアン(パラアルペンスキー) 野島選手との練習



7人

参加人数

2021.12.26 堀江車輛電装杯第一回ユニバーサル野球 日本選手権大会



12 回

合計使用回数

164 人

総参加人数

- ・ 個別対応してもらえるところ
- ・ 好きな時間にできる
- ・ 専用施設であること
- ・ 個人で伸ばしたいところを練習できるところ
- ・ コロナ渦で体育館が閉鎖でも運動する場があるというところ
- ・ なかなか車椅子を使って良い施設はないので気軽に使えるところ
- ・ 個別にトレーニングできるところ
- ・ 秘密基地のようなHASだけの特別感がある
- ・ トレーニング器具があるところ
- ・ 力をつけられる
- ・ バスケットゴール、事務所、トレーニング、トイレ、全て整っている

- ・狭いので運動量が少ない、自主トレ向き
- ・なかなか空いていない、いつ空いているのかわからない
- ・どのように利用して良いかあまりわからない
- ・贅沢は言えないが、やはり大人数参加の競技は難しいところ
- ・寒い、トイレに段差がある、送迎しにくい場所
- ・思い切り動けない
- ・10家族以上集まるのは難しい
- ・冬は寒く、雪が多く大変

- HAS SOKOでは導尿が難しいので、目隠しできるパーテーション
- ネット等から予約できるシステム
- 電子ロックシステム
- バリアフリーストイレ、更衣室、自動開閉シャッター

HAS SOKOを継続させるために…

より活用しやすい場にするために…



クラウドファンディング START予定！！